

第3回鳥取市スケートリンク検討委員会 会議概要録

平成25年4月25日（木）午前9時30分～11時30分
市役所本庁舎6階全員協議会室

出席：委員：岩本委員、大谷委員、川口委員、木嶋委員、小山委員
高井委員、林田委員、藤野委員、本名委員（50音順）
教育委員会：木下教育長、浅井課長、坂本係長、西田主幹

1 開会

事務局：ただ今から、第3回鳥取市スケートリンク検討委員会を開会いたします。本日は、全員出席ですので、委員会が成立していることを報告します。

2 委員紹介

事務局：今回新たに就任した委員もごさいます。申し訳ございませんが次第の裏の委員名簿の順に、自己紹介いただけたらと思います。（各委員自己紹介）

ありがとうございました。委員の皆さまには、資料と共に「委嘱状」を机上配布しております。ただ今の紹介で委員の委嘱に代えさせていただきます。

続いて、事務局の職員を紹介します。（各職員自己紹介）

昨年10月から新たに木下教育長が就任しました。本委員会には初めての出席となります。開会に当たり、木下教育長がごあいさつ申し上げます。

3 あいさつ

教育長：おはようございます。昨年10月から教育長をしております木下です。どうぞよろしくお願ひします。この委員会は昨年7月から3回目というところであります。思い出してみますと、かつて日本海リッチランドのスケート場で転んだのを覚えています。来年のソチオリンピックに向けて新たなスケートリンクの建設が聞かれているところでございます。スケート競技は国体の正式種目であり県民の競技力向上の観点から鳥取県と連携して立地条件或いは建設費、管理運営費などについて幅広く議論していただきたいと思っております。今日はいろいろな立場から、ご忌憚のないご意見をたくさんいただいご審議を、どうぞよろしくお願ひいたします。

4 委員長及び副委員長選出

事務局：委員長、副委員長につきましては、引き続き、委員長には鳥取大学の本名委員様、副委員長には鳥取県体育協会の川口委員様にお願いしたいと考えておりますが、皆さまいかがでしょうか。

（異議なし）

それでは、本名委員長より、一言ごあいさついただきたいと思います。

委員長：委員長を承りました本名です。鳥取はだんだん人口が少なくなってきました。いろんな魅力を出して人が集まる、楽しい体育施設を含めて、冬場に様々なスポーツができて、児童生徒、若者、お年寄りの方も鳥取に来て楽しもうというまちづくりができれば非常にいいなと思っております。スケートリンクについては、今回で3回目の審議となりますが、毎回事務局にお願いして資料をまとめてもらっています。今回も前回のお願ひをまとめていただいているので、それをご検討いただい、それぞれの立場から、どのような建物なら良いのか、皆さんの意見をまとめていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

事務局：では、これより以降の議事進行は、設置要綱により、委員長が議長を務めることとしておりますので、よろしく申し上げます。

5 説明事項

(1) スケジュールについて

※事務局が資料によりプロジェクターで説明

《質疑応答》

委員長：このようなスケジュールでよろしいでしょうか。

(異論なし)

(2) スケートリンク建設方式及び建設コストについて

※事務局が資料によりプロジェクターで説明

《質疑応答》

川口委員：確認ですが、コストの算定の前提となるスケートリンクの規模や内容の考え方はどうか。

事務局：リンクは国際規格でサブリンクなし。7月オープンの西宮を基本的に参考にした積算。したがって資料の図面では休憩ラウンジであるとか飲食スペース、それから管理棟が2階建てになっているが、これらについては、実際に建設を進める際の検討となる。鳥取市でスケートリンクを建設する場合にも最低限この程度は必要ではないかという判断で、参考資料として出させていただいた。もう一点参考として、盛岡市が3年後の岩手国体の開催予定となっている。盛岡市には既に5千人収容のアイスアリーナがあるが、このアイスアリーナが切替型で年間1億円の維持費がかかる。これをやめて、新たに通年型のアイスリンクを建設する。これには toto の助成も活用している。盛岡市は25年度当初予算に国際規格でサブリンク付のスケートリンクの建設費用として10億6千万円を要求しているというところからみても、同じ積雪地帯であり、今回鳥取市のスケートリンクとして積算した11億円とほぼ同レベルであり、一つの参考事例となる。

岩本委員：盛岡市のスケートリンクは、現在のもので大変立派なものである。新しいスケートリンクは、岡山国際、西宮、関西大学の方式を採用されると思う。盛岡市は、気候が鳥取と似ている。

川口委員：地上、地下のランニングコストがわかっていたら教えて欲しい。

事務局：詳しくは調べていないが、地下の場合、排水のポンプアップや削った氷の搬出に係る費用がプラスとなること、また、地上であってもメーカーの努力で室内の温度を下げたり、製氷設備に係る電気代を2分の1に抑えるCO2冷媒などの技術が進んでおり、地上の方がランニングコストが優れていると思われる。

木嶋委員：大阪市立中央体育館は切替型で夏はプールだが、上は植栽になっている。半地下では無く斜面を削ってトンネルにする方式もある。地下方式に特にこだわってはいないが。

大谷委員：削った土を上を盛る。立地によれば地下もあり得る。外構、受電設備が別途何億円もかかるとなれば、アンケートの取りようも変わってくるので次回で調べて欲しい。ソーラーの電力は施設で使うのか。

事務局：売電である。

大谷委員：ソーラーのランニングコストも次回調べて欲しい。

委員長：立地によっては半地下もあるが、基本的には地上で斜面の場合は半地下。

川口委員：消費税8%、10%を建設時期によって想定すべき。totoの補助について教えて欲しい。

事務局：totoは国体会場のみ対象となる。鳥取は対象外。

川口委員：検討委員会の報告では財源を示すのか。

岩本委員：合併特例債が使えるのかどうか大きな問題。

事務局：新市まちづくり計画にメニューがあるかどうかで決まる。スポーツレクリエーション施設の整備という項目が新市まちづくり計画にはある。活用する場合は財政当局との協議となる。

岩本委員：特例債の期限はまだあるのか。

事務局：平成26年から5年間延長となった。ただし、上限があるので、必ずしも使えるわけではない。

(3) 利用者数見込について

※事務局が資料によりプロジェクトで説明

《質疑応答》

大谷委員：年間の利用者数の推移は夏少なく、冬多い。立地によっても利用者数が増減する。附属施設があると、ちょっとスケートに寄ってみようとなる。利用者の想定も必要。既存の施設はどうか。商圏人口だが、高齢者の比率、年代も考慮すべき。八頭、日野は高齢者率45%。人口だけで考えるのは苦しい。そのあたりも考察に加えて欲しい。競技人口とレジャー人口。立地が比較的大きな要素となる。

岩本委員：圧倒的に多いのは子ども。

大谷委員：リッチランドは複合施設、ボーリングやゲームセンターがあった。

木嶋委員：通年型の施設をつくるという話をしていた以前の会議で高橋大輔選手が鳥取に来ていたと聞いた。他県からも合宿が見込めるということだが、私自身もバレーボールの指導をしていて、県外に遠征に行くことがある。岡山の桃太郎アリーナで鳥取の保護者に会って、何をしに来られたのか尋ねると、ダンスに来ているとのことで、四国からも来ていた。近年は競技人口がダンスに流れているようである。どういった競技に人口が流れているのか近年の推移を調べて欲しい。

岩本委員：岡山国際の2階にダンスフロアがあり、鳥取のスケート競技者もダンスレッスンをしている。

林田委員：利用者は、小学生5割、中高生3割、一般2割。

川口委員：鳥取のスケートリンクのアピールポイントをしっかりPRしていく必要がある。荒川静香さんや高橋大輔選手と鳥取とは結びつきがある。無良選手も鳥取の西部とつながりがある。それらをどのように売り出していか。そういったことで、他の施設と一緒に無いと言える全国にアピールできる施設にする。

委員長：建物を建てるだけでなく、指導者で魅力を持たせる。もしかしたら、将来のオリンピック選手が育つ可能性もある。

岩本委員：リッチランドがあった頃、夏はクローズしていたが、夏合宿を取り入れたことにより、西日本の有名選手が来ていた。高橋選手は小学6年生の頃来ていた。岡山国際も当時からあったが、鳥取に有名な指導者がいるということで、九州、一番遠くで鹿児島からも来ていた。岡山大学なども来ていた。鳥取に相当お金を落としていただいた。ワールドウイングの小山先生ともタイアップし、スピードスケートの黒岩選手などもリッチランドでスタート練習をしていた。その他にもいろんな選手が来ていた。

藤野委員：近年はカーリングが人気で、高齢者利用も見込める。岡山国際にはカーリング専用リンクがある。

木嶋委員：日中のボーリング場は、高齢者の利用がすごく多い。

川口委員：付加価値を付ける。小山ジムがあるので、鳥取にスケートリンクがあれば全日本の合宿をしたいという話も来ている。

委員長：全体的にはどうですか。

高井委員：事務局が算定した今回の利用者数見込は、高めの値。利用者数見込は上限、下限を設けて幅を持たせて示せば良いのでは。

小山委員：鳥取の特徴を出さないと結局一番良いスケートリンクに集まってくる。鳥取県らしさ、鳥取市らしさを出していく。

木嶋委員：立地を考慮しないといけない。

事務局：望ましいというかたちでの立地の提案はしていただきたい。市の塩漬の土地など土地の新たな取得の無い方向で考えたい。

木嶋委員：倉吉市の鳥取二十世紀梨記念館のプールに良く行く。楽しければ1時間や2時間程度の移動時間なら行く。

委員長：まとめると、

- ・メインリンクは国際規格、サブリンクは無し
- ・できれば通年型
- ・基本的には地上設置だが、布勢の丘など斜面を削って半地下もありうる
- ・ソーラーパネルを付ける場合、建設コストとランニングコストでペイするかを判断
- ・運営形態は、直営又は外部委託
- ・単独又は複合施設（ダンスフロアやトレーニング施設など）
- ・どんな場所に建てるか
- ・利用者数は、競技人口とレジャー人口を分ける、年齢層も考慮する
- ・外構、受電設備の建設コストの試算
- ・いかに魅力ある運営ができるか

6 その他

事務局：次回は6月に開催予定。今回いただいた宿題をまとめたものから報告させていただきます。日程調整は後日させていただきます。

7 閉 会

委員長：本日はこれで終わります。ありがとうございました。